

大東総合センター通信

「雲南市脱炭素宣言」について



所長 景山 修二



平素より皆様には、雲南市並びに大東総合センターの各種取り組みにつきまして、ご理解とご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、令和3年7月豪雨災害から一年が経過しました。

市では、「災害復興室」を設置し、市役所内の連絡調整や総括を行う一方で、公共災害と農林災害の復興チームを設置し、鋭意工事に取り組んでおります。

一方で、大東地区自治振興協議会では、地区内の各自主防災組織の連携や、災害の被害防止と軽減を図ることを目的に、「大東地区自主防災連絡協議会」を既に組織されており、防災研修会や防災フォーラムなどの各種事業を通じ、その対応に取り組んでおられます。今後この組織を中心に、大東

地区の防災に対する意識が高まり、有事の際には、円滑な対応が進められることを期待しております。

さて、雲南市ではこの災害を一つのきっかけに、本年6月、「雲南市脱炭素宣言」を表明しました。これは、世界中で地球温暖化、気象変動により異常気象が発生し、各地で甚大な災害が生じていることから、日本では、2050年までに脱炭素社会の実現を目指すことが宣言されており、本市としてその取り組みの具体を実現させるものです。今後は、脱炭素社会実現プロジェクトとして「再生可能エネルギーの推進」、「森林資源の活用」、「省エネルギーの推進」、「ゴミゼロ社会の実現」の4つを基本方針として計画を立ち上げ、具体的な対策を推進して参ります。特に省エネルギーやごみ対策は市民の皆様一人ひとりの実践から始まります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

大東図書館だより

「大東 相撲巡業展—昭和20～30年代—」

大東図書館では、10月16日（日）まで「大東 相撲巡業展」を開催しています。

昨年、大東町の昭和20～30年代を調査するなか、複数のかたから相撲巡業についての話が寄せられました。しかし、図書館で資料をさがしたところ、上代清氏の『皇国郷土年代表』に「昭和21年6月9日双葉山木次に来る」という記述を見つただけでした。その後、大東交流センターのご協力により、昭和31年10月、大東中学校で開催した時津風一門巡業の際の「板番付」や「記念色紙」があることがわかりました。また、当時の写真を所蔵しているかたがあることがわかりました。

今回、発見された上記の資料をご提供いただき展示します。あわせて昭和20～30年代の大東相撲巡業年表を図書館の資料とともに展示します。ふるさと大東の昭和の一ページです。当時を懐かしく思い出していただき、ご記憶があればお話しいただければ幸いです。皆様のご来館をお待ちしております。



- 期 間：～10月16日（日）
- 休 館 日：毎週金曜日・祝日・月末・10月1日（土）
- 開館時間：10：00～18：00
- 電 話：0854-43-6131



大東相撲巡業 横綱鏡里土俵入り（昭和31年）
[吉田家提供]

催しのご案内

秋の星空観察会

日 時：10月15日（土）20時～
 会 場：大東地域交流センター屋上星観台
 参加費：無料（要申込）
 観 察：木星、土星、星座（水瓶座・やぎ座等）
 申込み問合せ：大東地域交流センター（43-2130）

桂弥っこふるさと寄席

（他の出演者：桂吉弥・桂しん吉・桂弥吉）

10/ 8 久野交流センター
 10/ 9 三刀屋ほほえみ会館
 大東交流センター
 10/10 木次チェリヴァホール

前売券：1,000円 当日券：1,500円
 問合せ：木次チェリヴァホール





7/23 加茂二十三夜祭水燈路

コロナ禍により各地で夏祭りが自粛される中、神輿・左義長行列、仁多乃炎太鼓、打上花火などの加茂「二十三夜祭」が行われました。サンカクカフェ（代表：岸本寛子）による木次線利用促進のための「汽車にのって二十三夜へ行こう！ 加茂中駅での水燈路によるお出迎えとお見送り」企画に、大東絵画教室受講生3人も、石飛雲南市長とともに水燈路イラスト作成に協力しました。



7/31 丸子山公園愛護作業

連担地自治会の皆様による道路愛護作業に合わせた丸子山公園愛護作業が、今年度も古くから親しまれている宗専寺や文化センターからの遊歩道の路面清掃を中心に行われました。きれいになった遊歩道を散歩しながら頂上の「桜の広場」からの眺望を楽しんでみてください。



8/2 大東保育園七夕まつり

今年も大東保育園七夕まつりが行われました。大東七夕祭りは新型コロナウイルス感染症の影響により3年連続で中止となりましたが、少子高齢化の進展とともに、450年近く受け継がれてきた大東町最大の夏祭りが途切れることなく、継承に向けて知恵と元気を出し合ひましょう。また、次世代の理解を深める上では、保育園での七夕行事や学校でのふるさと学習などに引き続き取り組まれるよう願っています。



8/3 星空を見よう！

生涯学習運営委員会では大東小学校児童・保護者を中心に夏の星空観察会を大東地域交流センター屋上の「雲南七夕星観台 (UTA0)」で行いました。講師の富久晃さんや佐藤紀正さんから月、土星、北アメリカ星雲、国際宇宙ステーションや「こと座 (織姫)」

「わし座 (彦星)」 「白鳥座」などの説明を聞いたり、実際に望遠鏡で確認しました。久しぶりに星空を見上げる機会となりました。



8/17~31 藤本雄二絵画展

日展会友で東光会会員の藤本雄二さんの絵画展が大東地域交流センターで開かれました。個展は3回目で、今回は仏像、「宍道湖」や「富士山」などの風景、「向日葵」や「薔薇」などの花や静物等39点が展示されました。今後について「さらなる高みを目指すとともに、絵画教室等を通じて幅広く絵画の基礎や、楽しみを広げたい。また、第一線で活躍できる人材の育成や後押しをしたい」と話されました。



大東高校 ビーチバレーJr.選手権 全国優勝

(吉岡・江隅ペア)



僕は、大東高校の男子バレー部に所属しています。大東高校はインドアのバレーだけでなく、ビーチバレーの方にも力を入れて活動しています。今年から僕は、ビーチバレーを本格的に始めました。

今回8月9日～11日に大阪府阪南市で行われた第21回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会に島根県代表として出場しました。大会では、どの試合も相手チームに先制されて苦しい試合展開になりましたが、最後までボールに食らいつき、戦い抜いた結果、優勝することができました。

僕はこれからもビーチバレーを続けてやっていきたいと思っています。この大会で得た経験や課題をこれからは生かしていきたいと思います。また9月10日から行われる国体でも優勝できるよう頑張りたいです。
(2年 江角翔央)

僕たちは8月9日～11日に大阪府で行われた全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会に参加し、優勝することができました。僕がこの大会を通して思ったことは、いろいろな人に支えられているということです。まず、この大会は新型コロナウイルスの影響で中止が続いて3年ぶりの開催でした。ですのでこの大会を開催してくださった人に感謝しています。そして、指導してくださっている人、応援してくださっている人に感謝の気持ちをもって練習をし、次からの大会も優勝できるように頑張ります。そして残り少ない大会も後悔しないように、まずは日々の練習を大切にして、大会に挑みたいです。応援よろしくをお願いします。
(2年 吉岡健太)



「スサノオくん」誕生エピソード

大東町 光 岸野 俊一



(絵:大東町東町北 細田 滋)

「スサノオくん」を描くことになったのは、旧大東町役場時代に地域活性化の一環として地域の特色を出したイラストを公用の封筒に付けようということになり、稚拙だがイラストを描く職員がいるということを知りつけた活性化担当者から「神楽のイラストを描いてくれ」という依頼が私にありました。

写実的なものという要望でしたので、写実的な絵は苦手でしたが頑張って描いてみたものの、担当者の思い描いていたイメージと違っていただけか、ボツになりました。

それとは別に、こんなのどうですか?的に「スサノオくん」の原型も描いて提出していましたが、写実的なという要望からかけ離れていますので勿論…ボツ!…になるはずでした。しかし担当者の隣にいた女性職員さんの「あっ、これカワイイ」という一言により「スサノオくん」が生まれることになりました。

ですから今でも「スサノオくん」の本当の生みの親は、企画した活性化担当者でも描いた私でもなくこの女性職員さんだと思っています(笑)

合併前当時の大東町活性化に「スサノオくん」が少しでも役立っていたのなら、企画に関わったひとりとして嬉しく思います。



スサノオくん



大東小学校の思い出

(来年5月に開校150周年を迎えるにあたって)

昭和36年卒業生 箕面市 藤原 洋二(金成出身)

寄稿にあたり大東小学校のホームページを閲覧。沿革を見ると「1873年(明治6年)5月:祥雲寺本堂に第四学区、第十九中学区、公立大東小学校を開設」とあり、私の卒業が1961(昭和36)年だから82期生になる。この年の6月には「新校舎第一期工事(前館)竣工」となっているので、下写真は解体前の最後の姿。大正12(1923)年に建てられてから38年間の学び舎となる。しかし新校舎工事は始まっていたと思うが全く記憶にない。卒業アルバムを見ながら当時にタイムスリップ!

各教室からの煙突は冬暖房の石炭ストーブ用。通学の途中、枯れた杉の葉を集め持って行き、石炭下に小枝と一緒に敷いて点火。昼食時には弁当の温めに利用。煙突と屋根の庇の交差している部分には雪が滑り落ちて煙突を壊さない様に止め木があるが、無いところは積もった雪が滑り落ち「ドッドド」の音に驚かされた。改めて見ると玄関の造りは大正時代の面影を改めて知るような状況。玄関入ったところで週番の引継ぎをしたのは写真を見て思い出した。



当時の思い出は「俺らが子どもの頃は



…」の目線で。当時プールはなく、学校前の赤川の「教え橋」のたもと(左写真)が泳ぎ場所。当時はほとんどの川で泳げた。但し稲田がパラチオンで消毒されると泳ぎは禁止。

私はこの頃に初めて泳げるようになり、合同訓練で学校の講堂で1泊?。これを生かして臨海学舎で島根半島の大芦海岸へ。2泊3日の日程であったが、ここでは溺れかけて安部先生に助けていただいた事しか記憶にない。

6年生時の思い出は卒業アルバムで湧いてくるものの、1~5年生の学校生活の写真はなく浮かんでこない。苦い思い出は、寄生虫予防のため、独特な匂いの海藻を講堂で飲まれた事。遊びでは三角ベース、馬乗り、馬けり、すっけんご。ゴム飛び、シーソー、お手玉…。現代っ子は解る?

また当時の校訓〔自立・敬愛・剛健〕は今でも通信簿に記載されているだろうか?通信簿って何?

右写真は6年生時の担任とPTAのみなさんが、中庭噴水前で撮られたもの。後ろ4人が当時の担任。(左から佐藤・安部・遠藤・桑原先生)



学校案内の中に「いじめ対策基本方針」があるが、当時は今のようないじめ等の問題はなかったように思う。決して豊かな生活でもなく、貧しいなりに何となく心の余裕(寛大な心)があり家族団欒時間もテレビ等がない分長かった。各クラス40数人を見守っていただいた先生と両親に感謝。やはり当時は先生・両親・児童を結ぶ三角形の線が太かったかもしれない。今は塾・クラブ・共稼ぎ等で個々で精一杯では?

最後に広報紙「まるこやま」を発刊の都度見て、人口、世帯数とも減少方向にあり、学校運営面で課題も多々あると思うが、学びや体験を通し子どもたちの豊かな人間性を最大限に伸ばしてほしい。

大東小学校創立
150周年記念事業
準備委員会からのお願い

来年創立150周年を迎えるにあたり、準備委員会では本年10月に実行委員会を設立し事業を進める準備をしています。主な事業として在校児童の記念行事・記念冊子の発行・学校教育活動への支援等を検討しています。また、その財源の一部を寄付金として地域のみなさまや卒業生のみなさまにお願いさせていただきたく思います。具体的には実行委員会設立後に記念となる写真等の資料提供や寄付活動へのご協力を趣意書等により願させていただきます。



ふじはら ようこ
藤原 陽子さん (南本町自治会)

長引くコロナ禍色々な縛りがある中、健康長寿を目標とし、町内外を問わずお年寄りのよりどころや子どもたちの健全育成のために細身の体に鞭打って活動されている藤原陽子さんにお話を伺いました。

Q まず、子どもたちへの読み語りを続けられています、それから伺いましょうか。

「ほおづえほたる」という小学生の読み語りボランティアがあり、その仲間と毎週金曜日始業前の約10分間各学年を対象に読み語りをしています。

図書館に行き毎回2冊ずつ本を選びます。いろいろな本に出合える楽しみもあり、子どもたちが喜ぶ姿を思い浮かべ「ちむどんどん」しながら本を選びます。読み語りの対象を私は低学年を希望しているため反応が早く元気をもらいます。子どもさんは素直で楽しい時間です。昔、保育士を目指し国家試験を受けるための研修で子どもへの読み聞かせの必要性・重要性をとことん教わりました。それが今の原点になっています。一人でも多くの子どもさんに本に親しんでいただきたいです。心が育ち、心が豊かになり思いやりの心が育つと言われていています。

大東町子ども読書会指導員もやっています。これは図書館で1時間ほど、小さな子どもさんから小学6年生さんまでを対象にした読み聞かせです。親子や兄弟で参加していただきアットホームな雰囲気です。

また、小学校で昔の遊びをしたり、家庭科ボランティアに参加し触れ合いも多く子どもさんを身近に感じています。

子どもさんたちとの沢山の触れ合いがいつまでも若さを保つ秘訣でしょうか。

Q 他にもボランティア活動されているようですが。

大東「さくらの会」12名の会員の一人として音訳ボランティアを20年続けています。社会福祉協議会の関係事業の一つです。視覚に障がいのある方に対し「市報うんなん」「社協だより」を音訳しCDに録音し配布していただいています。利用者の皆さんに聞いていただいている姿を想像しながらマイクに向かい正確に雲南市の情報を伝えるお手伝いです。

Q 地域運動指導員としての活動は？

「身体教育医学研修所うんなん」の要請を受け、地域の方に体を動かす事の「楽しさ」と「大切さ」を伝えていく活動をしています。健康寿命延伸のための3つの柱「運動」「栄養」「社会参加」や「うんなん幸運体操」の普及活動をしています。

大東地区でも5月から活動が開始され、毎週金曜日大東地域交流センターで音楽に合わせてみんなで体を動かしています。フレイル予防の為に筋力をつけるこの体操はお薦めです。

色々な自治会のサロンにも出掛け、参加者さんから逆に元気をもらったり、楽しさを教えられたりしています。

この体操をして幸運を勝ち取りたいですね。

Q 健康を維持し若さを保つための取り組みについて聞かせて下さい。

雲南市ウオーキング協会の会員で月例会など参加しています。個人的にも毎日30~40分ウオーキングしています。早朝新鮮な空気を吸い、夜は星空やお月さんを見ながら歩くと癒されます。「山の会」の会員としても登山にも挑戦しています。南アルプスの「千丈ヶ岳」で野に咲く花に魅了され、愛媛県の「石鎚山」ではご来光や頂上からの別世界のような景色に感動しました。山梨の瑞牆山(みずがきやま)から見た富士山は忘れられません。

高齢になってから本格的に始めた登山ですので100名山のうち11山登ったところでコロナ禍になり、今は近場の山を楽しんでいます。自然に接し、四季によっていろいろな表情を見せる山に、また「ちむどんどん」しています。

自然の山河はウソをつきません。

色々な取り組みと活動範囲の広さにびっくりです。お話しの中から色々な活動への熱い思いが心に伝わって来ましたよ。昔の懐かしい思い出も語って頂きました。「やりたいことは沢山あるけどコロナのせいで活動が減り寂しい限り、一刻も早い終息を祈ります。」とも、そして「近いうちに吾妻山に登りマツムシソウ、ウメバチソウにも会いたいわ。」と夢も広がります。人生はまだ長い。これからも子ども達老人さん達のため頑張ってください。 勿論、自分をいたわってからですよー!! (記、西村 武)

あいあい募金

ご寄付に感謝致します

- ・大東町(新庄西) 安部 和美 様 (香典返し)
- ・大東町(清田) 小山 洋介 様 (香典返し)
- ・大東町(西町) 山崎 達哉 様 (香典返し)

皆様からお寄せいただいたご寄付は地域の絆を深め、支えあう活動に対する補助金等に活用させていただいております。

大東地区振興あいあい募金運営委員会 (TEL: 43-2130)

■令和4年8月末現在の人口・世帯数 【()内は対前々月比】

項目	雲南市	大東町	大東地区
総人口	35,963人 (-84人)	11,467人 (-26人)	3,418人 (-9人)
男性	17,350人 (-38人)	5,598人 (-13人)	1,651人 (-5人)
女性	18,613人 (-46人)	5,869人 (-13人)	1,767人 (-4人)
世帯数	13,613世帯 (-19世帯)	4,122世帯 (±0世帯)	1,274世帯 (-2世帯)
高齢化率	40.21% (+0.03%)	40.19% (+0.05%)	—

資料：雲南市HPより